



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒 803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>
e-mail : koe@siminnokai.com

高齢者福祉乗車券の実現へ 引き続き署名活動を継続します

2020年9月24日に21933署名高齢者福祉乗車券の実現を求める請願署名を市議会議長に提出し、11月11日に三輪俊和さんが口頭陳述を行いました。北九州市の保健福祉局は高齢者福祉乗車券を実施しない5つ理由について説明し、請願は継続審議となりました。

その後1月の市議選で新しい市議員が選出され、前任期(4年間)の請願・陳情が自動的に抹消されました。そのため、新しい議会へ前回と同じ請願内容と22849筆の署名数などを記載した請願書を再提出し受理されました。4～5月の常任委員会で、再び口頭陳述する予定です。引き続き署名運動を継続して取り組んでいきます。みなさんのご協力をお願いします。

新しい議会でも高齢者福祉乗車券の実現を求めて質問

2021年3月議会で、3月5日に荒川徹議員、3月17日に永井佑議員が高齢者福祉乗車券の実現を求めて質問を行いました。

市の保健福祉局は、①交通事業者が行っている高齢者料金割引は89%から64%で、安価な料金で利用できる高齢者が外出しやすい環境整備が整っている。②おでかけ交通を実施している。③買い物支援の取り組みが地域で行なわれている。④高齢者の健康づくりの取り組みを強めている。⑤交通費助成に多額の事業費がかかることを理由に実施しないと述べました。これまでの答弁を繰り返す中、「高齢者の生活交通に関しては、北九州市環境首都総合交通戦略会議でも議論していくことにしている」との答弁も行っています。

予算分科会の審議の中で、民間事業者が行っている、割引乗車券の利用状況が把握されていないことがわかりました。調査をしないで「高齢者の外出する環境が整っている」とした答弁には説得力はありません。

引き続き、高齢者の買い物や病院等への移動を支援するために、だれでも、いつでも交通機関が使える支援制度をつくるために、ねばり強くがんばりましょう。

(小林節馬)

民間交通事業者の割引乗車券の利用状況(聞き取り調査)

	令和元年	平成30年
モノレール シルバーパス	延べ4386件	延べ4427件
対象: 65歳以上	対象人口 59811(南区) 7.3%	
市営バス ふれあい定期券	延べ2421件	延べ2515件
対象: 75歳以上	対象人口 13763(若松) 17.6%	
西鉄バス グランドパス 65	約6万件	
対象: 65歳以上	対象人口 290373(全区) 20.6%	

八幡市民会館の活用を求める連絡会

3月16日、第60回を重ねる上記連絡会が開かれました。2021年度予算案に埋蔵文化センターの移転費用が経常されていない問題、市民意見(パブコメ)の取り扱いについて討議、検討した。パブコメは3月24日10時からの「教育文化委員会」に報告され、同時刻からHPに掲載されることになっています。さらに、この日【「埋蔵文化財センター」移転事業に関する「事前評価2」の結果を再検討する事を求めます】という請願書を鷹木研一郎市議会議長あてに提出しました。紹介議員は、日本共産党議員8名と井上しんご議員。今後どのように連絡会の運動を広めていくか検討しました。

次回連絡会は、4月16日(金)13:30から大谷市民センターで開催予定。



9条の会・北九州憲法ネット連続講座

3月20日(土)、憲法ネットが冨塚明氏(長崎大学)を招き講演会を開いた。演題は「敵基地攻撃能力論と九州の軍事基地」。パワーポイントを使った80分の講演に、40名の参加者は聞き入った。1九州の米軍基地 2大変貌する自衛隊 3進む日米軍事一体強化 4歩むべき別の道があるという内容でした。



さよなら原発金曜行動は、425回

3月19日、さよなら原発金曜行動は425回を重ねてきました。この日も、たくさんの人が小倉駅デッキに集まり、リレートーク、歌声、署名活動を行いました。金曜行動の後は、「平和をあきらめない北九州ネット」の19日定例行動にバトンタッチし、改憲発議に反対する全国緊急署名の協力を呼びかけました。



「生保110番」で10件の相談対応

2ヶ月に1度、継続して実施している「生活保護110番」を3月16日に実施しました。今回もマスコミ2社の取材をうけました。ニュースは残念ながら夕方の放映となりましたが毎回、地域に配布しているチラシや事前告知で載った新聞2社の記事を見ての相談がありました。「社協の貸付などで何とか生活してきたがこの先が不安」「年金と自営業(指圧)で親子3人の生計を立てていたが、コロナの影響で収入がゼロに。保護申請は可能か?」といった長引くコロナ禍での困窮相談が引き続き寄せられました。また、高齢の女性で少ない年金で生活していたが限界になって相談してきた方は身障があつて車を所有していましたが、状況からして生保該当のため後日、申請同行することを約束しました。また、「社協に貸付の相談をしたがコロナ関連でなければ無理と言われた」という諸事情で生活困難に陥っている方の相談には直接、社協窓口に関わり合いを説明不足などの対応について指導要請を行いました。滞納もありライフラインが止められる状況でもあったため生保申請を勧めましたが、「当面の生活見通しがつけば・・・」とのことでしたので社協貸付の手続きを急ぐようアドバイスを行いました。コロナ禍の影響のみならず、潜在的な生活困窮者も増加しているのではと危惧しています。引き続き、この相談活動に取り組んでいきたいと思ひます。

大阪に続け!福岡でも勝利判決を 生保&年金裁判の宣伝行動再開

3月23日に小倉北区旦過市場横で「生保&年金裁判を支援する会(いかんよ貧困・福岡)北九州」の宣伝行動を再開しました。当日は生健会・年金者組合・北九州市社協から11名が元気に参加。75歳以上の医療費窓口負担2割化撤回署名にも取り組みました。

4.11 福岡県知事選挙

みんなで女性知事を誕生させよう

平和とくらしを守る北九州市民の会
事務局長 三輪俊和

私たち「平和とくらしを守る北九州市民の会」は、市民のみなさんの要求、対話をふまえ、日本国憲法をくらしに生かし、住民自治により、市民のいのち、くらし、権利をまもり発展させる、広範な市民運動の推進と交流を行なうことを目的としています。

前回の市長選挙でも永田候補を支持し、安倍政権いいなりの市政から市民のくらし優先の市政実現をめざし奮闘しました。

今回の福岡県知事選においても、現県政をそのまま継続する候補者より、コロナ対策に全力をあげいのちと暮らしを守り、福岡県政の刷新を掲げる候補者を支持します。

みんなで初的女性知事を誕生させ、だれ一人取り残さない県政を実現するために、会員各位のご支持、ご奮闘を呼びかけます。

